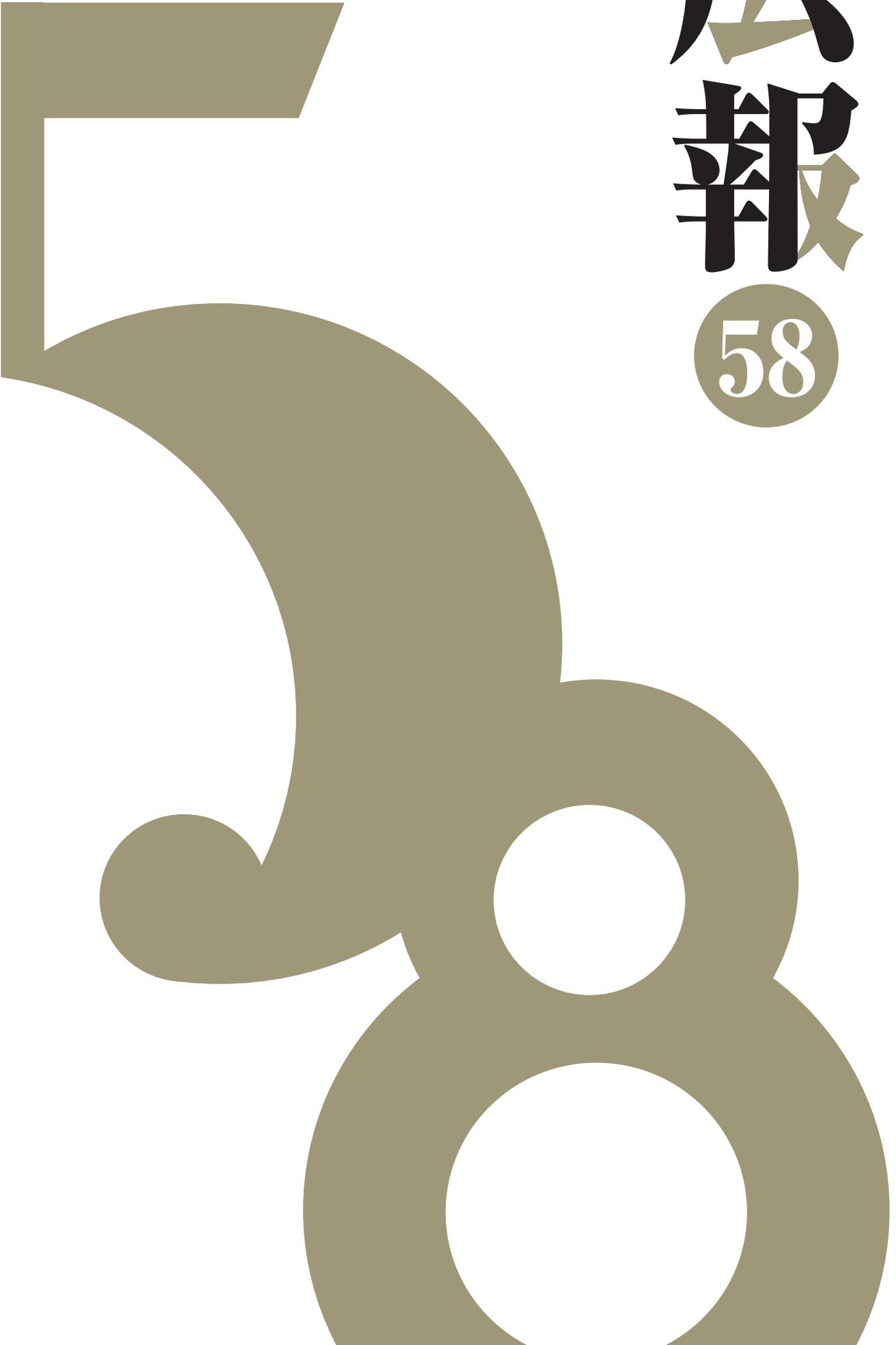


京都嵯峨芸術大学

# 広報

58



附属博物館スケジュール

『林遼子ジュエリー 祈りの形象』

会期：9月24日(土)～10月30日(日)、休館日/日曜日(ただし9月25日、10月30日を除く)  
時間：10:00～17:00

『デザイン学科卒業制作学内展示』

会期：12月2日(金)～8日(木)、休館日/日曜日(予定)  
時間：12:00～18:00

附属ギャラリー「アールスペース嵯峨」スケジュール

『生涯学習講座受講生作品展・前期』

会期：9月12日(月)～18日(日)、休館日/なし  
時間：10:00～17:00

『京都擬人化作品展』

会期：10月11日(火)～19日(水)、休館日/日曜日(予定)  
時間：11:00～17:00

『井上 大輔、江村 耕市、倉山 裕昭 三人展「森の高さ」』

会期：10月23日(日)～27日(木)、休館日/なし  
時間：11:00～19:00

『イラストレーション3回生作品展』

会期：11月3日(木・祝)～11日(金)、休館日/日曜日(予定)  
時間：12:00～18:00(最終日は17:00)

『第14回 SAGA ART JAM 展』

会期：11月13日(日)～19日(土)、休館日/なし  
時間：11:00～17:00(最終日は15:00)

『Circulation8』

会期：11月21日(月)～25日(金)、休館日/なし  
時間：12:00～18:00(最終日は14:00)

『デザイン学科卒業制作学内展示』

会期：12月2日(金)～8日(木)、休館日/日曜日(予定)  
時間：12:00～18:00

『第3回 京都・木と山の写真コンテスト』

会期：2017年1月6日(金)～9日(月・祝)、休館日/なし  
時間：10:00～17:00(最終日は16:00)

アートプレイス スケジュール

アールスペース嵐 (玄関ホール)

『いろいろ展』

会期：9月28日(水)～10月4日(火)、休館日/日曜日(予定)  
時間：9:00～18:00(最終日は16:00)

『ポートフォリオ展』

会期：10月11日(火)～21日(金)、休館日/日曜日(予定)  
時間：9:00～20:00(最終日は16:00)

『彫刻展』

会期：11月2日(水)～8日(火)、休館日/日曜日(予定)  
時間：9:00～17:00

『GAINAX×SAGA 放課後のプレアデス展』

会期：11月10日(木)～24日(木)、休館日/日曜日(予定)  
時間：10:00～18:00(最終日は17:00)

『映像・アニメーション領域上映展(仮)』+『デザイン学科卒業制作学内展示』

会期：11月30日(水)～12月12日(月)、休館日/日曜日(予定)  
時間：10:00～17:00(最終日は13:00)  
『デザイン学科卒業制作学内展示』の会期は12月8日(木)まで

鴉茶色  
今号の色

鴉茶(ひわちや)とは、緑みの鈍い黄色のことで鴉茶より明るい色調をさします。鴉茶は、江戸中期の小袖の色として流行しました。ちなみに、鴉はスズメ目アトリ科の小鳥で、「前雀」「金翅雀」とも書きます。他に鴉の字がつく色名としては、鴉の羽の色である「鴉色」がありますが、こちらは明るい萌黄色のような色になります。

アールスペース嵐 (玄関ホールギャラリー)

『彫刻展』

会期：11月2日(水)～8日(火)、休館日/日曜日(予定)  
時間：9:00～17:00

『GAINAX×SAGA ガイナックス作品トリビュート展』

会期：11月10日(木)～24日(木)、休館日/日曜日(予定)  
時間：10:00～18:00(最終日は17:00)

『映像・アニメーション領域上映展(仮)』+『デザイン学科卒業制作学内展示』

会期：11月30日(水)～12月12日(月)、休館日/日曜日(予定)  
時間：10:00～17:00(最終日は13:00)  
『デザイン学科卒業制作学内展示』の会期は12月8日(木)まで

講堂棟1階 学生ホール (北・東壁面・床)

『デザイン学科卒業制作学内展示』

会期：12月2日(金)～8日(木)、休館日/日曜日(予定)  
時間：12:00～18:00

ギャラリー周辺・ホワイエ

『デザイン学科卒業制作学内展示』

会期：12月2日(金)～8日(木)、休館日/日曜日(予定)  
時間：12:00～18:00

※ 休館日、開館時間などは都合により変更になる場合があります。

連続公開講座「京の美意識」

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の刻を刻んできた京都の独特の知識や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍している講師をお招きして、ご講演いただいています。

第108回 爪を使って織る「つづれ織り」の魅力伝えるために

日時：10月8日(土)14:20～  
講師：石川 真理 <織家まりきこ つづれ織り作家>  
岡本 真紀子 <織家まりきこ つづれ織り作家>

第109回 京都竹工芸の魅力～伝統の技を現代の意匠に～

日時：2017年1月21日(土)14:20～  
講師：山崎 智子 <京都竹工房 ゆうすい主宰>

※いずれも有響館G401教室にて開催(参加無料)  
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

絵本読み語り「あらし山びこ」

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日時：10月15日(土)13:00～13:30、テーマ：えほんとおそば  
12月17日(土)13:00～14:00、テーマ：ふわふわ

※有響館1階附属図書館にて開催(入場無料)  
大学授業・行事等により開催日やテーマを変更する場合があります。  
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会の主催でフリーマーケットを開催しています。学内を会場に、学生の手作りグッズから世界にひとつの作品まで、芸術大学ならではのラインナップが並びます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご出店いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

日時：[vol.11 サガノミノイチ]、10月1日(土)11:00～16:00を予定  
※この回は、てづくり市です。

※天候や、大学授業・行事等により開催日を変更・中止にする場合があります。  
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

大学関連行事予定 Sep.2016 - Dec.2016

9月 17日(土)・・・後期授業開始	30日(日)・・・ホームカミングデー
25日(日)・・・AO入試3期	11月 5日(土)・・・スカラシップ入試(前期)
28日(水)・・・前期卒業・修了式	6日(日)・・・公募制推薦入試
10月 2日(日)・・・入試対策実技講習会	12月11日(日)・・・外国人留学生入試(前期)
22日(土)・・・大学院入試(前期)	※本学、台湾会場とも 海外帰国生入試(前期)、 社会人入試(前期)
※社会人、留学生含む	26日(月)・・・年内授業最終日
23日(日)・・・指定校入試、3年次編入学入試(前期)	27日(火)・・・冬季休業
※留学生含む	～1月6日(金)
短期大学部専攻科入試(前期)	
29日(土)・・・嵐芸祭、学園祭オープンキャンパス	
～30日(日)	



学校法人 大覚寺学園  
京都嵯峨芸術大学  
京都嵯峨芸術大学短期大学部



京都嵯峨芸術大学公式  
Facebook



京都嵯峨芸術大学公式  
Twitter



京都嵯峨芸術大学公式  
YouTubeチャンネル



各種連携事業

## SCC第7回ワークショップ報告

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)では7月16日(土)、本学AVホールにて、芸術学部観光デザイン学科の卒業生で、現在「えだまめデザインラボ」の代表を務める寺岡みどり(本名・寺岡大祐)さんを講師に迎え、「『ゆとり世代』のデザイナーのあゆみ」と題して、第7回目のワークショップを開催いたしました。

寺岡さんは、2011年3月に本学を卒業後、アートディレクター、グラフィックデザイナー、イラストレーターとして様々なデザイン・プロジェクトを手がけるほか、音楽フェスの企画や、京都宇治にある旅館のプロデュースとマネジメントを担当するなど、多彩なフィールドで活躍されています。

今回のワークショップでは、いわゆる「ゆとり世代」に属するという寺岡さんが、在学中から手がけてきた様々なプロジェクトを紹介しながら、自身のデザイナーとしての歩みを振り返る中で、寺岡さんが考える「ゆとり世代」のキャリアの積み方について語っていただきました。講演終了後は、和やかな雰囲気の中で参加者と質疑応答が行われ、充実したワークショップとなりました。

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)は、卒業生の作家活動・社会的活動の支援、文化事業における大学との事業連携、

卒業生相互の交流と親睦を深めることを目的に、2013年11月に発足しました。2014年には卒業生だけでなく、在学生や教職員、退職された教職員など学園関係者すべてが集うことのできるクラブへと会員資格を拡大し、現在550名余りの会員を擁する会に成長してきました。(2016.7)

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)では、会員から寄せられた個展やイベントなどの情報を本学Webサイトに掲載するとともに、定期的に全会員にメール配信しています。また、今秋には独立したサイトを作り、あらたに会員の作品を掲載するWebギャラリー(仮)を開設する準備を進めています。今後とも大学から会員への情報発信の場として、学園関係者の交流の場として一層の充実を図ってゆく予定です。

(学長室)



## 「Perfume Art Project 2016」報告

本学の研究団体Perfume Art Projectが、7月1日(金)~7日(木)まで、京都芸術センターで香りのアート日仏学生交流展「ここ・そこ・あそこ」を開催しました。

「ここ」「そこ」「あそこ」の空気の境目はどこにあるのでしょうか? 確実にあるとわかっている、具体的に指し示し、共有することの難しい「空間の切れ目」を香りのアートで表現しようと、日仏学生約20名が集結しました。キュレーターの岩崎陽子(短期大学部講師)、香りアーティストのBoris RAUX、松本泰章(芸術学部教授)の監修の下、京都嵯峨芸術大学とパリ・ボザール(川俣正ゼミ)、リヨンボザールの学生も加わり昨年よりパワーアップしました。初日にはヴェルニサージュを開催し、オープニングイベント

としてワークショップ、パフォーマンス、本学複合領域メディアアートの学生によるジョン・ケージの演奏会等、盛りだくさんの内容を賑やかに行いました。期間中の延べ来場者数は300人を超え、メディアやSNSでも様々な取り上げていただきました。(短期大学部・岩崎陽子講師)



附属機関

## 博物館展示報告



附属博物館では7月9日(土)~8月6日(土)まで「京都嵯峨芸術大学附属博物館 第II期常設展」が開催されました。季節柄、夏らしい企画として「異形のもの」や「異界」との出会いをテーマとする「特集1 異界との出会い・異形との出会い」と、当館の版画コレクションのほか、染織や立体を含む「特集2 嵯峨芸の版画コレクション」のふたつの柱をたてて会場を展示構成しました。時代も制作ジャンルも異なる約25点の作品が並ぶ本展は、在学生にとっても本学附属博物館のコレクションを知る貴重な機会となったことでしょう。また夏休みシーズンということもあり、近隣住民の方々にもご覧いただくことができました。

(社会連携・研究支援グループ)

# CONTRIBUTION



## 「校名変更」にあたって

爽秋の候 皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、急なお知らせとなりますが、本学園では2017年4月より、設置校名を「京都嵯峨芸術大学」から「嵯峨美術大学」に、「京都嵯峨芸術大学短期大学部」から「嵯峨美術短期大学」に変更することといたしました。

本学園は1971年に嵯峨美術短期大学を設置し、2001年には四年制大学の京都嵯峨芸術大学を増設し、同時に、嵯峨美術短期大学を京都嵯峨芸術大学短期大学部と名称変更しました。開学以来40有余年、今日まで2万名を超える卒業生を輩出してまいりました。

21世紀の社会、とりわけ美術界、産業界の求めに応じる高等教育機関としての役割をいかに再構築し、本学のイメージの好感度を高めるか、という大きな課題を見据え、全学を上げて集中的な議論を重ねてきた結果、このたびの校名の変更に踏み切った次第です。

今日増えつつある幅広い領域に展開してゆく総合芸術大学に対し、本学園は視覚芸術である美術に的を絞った関西唯一の美術大学として、美の技を究める最高学府として、より高度な創造性教育・研究を推進していくべきであると判断いたしました。

美は、表現手段、媒体、場、時の如何を問わず、おそらくあらゆる

人間の営みに絡み、時に感知しにくいかたちであれ、絶大な力を発揮している普遍的な構成要素なのです。

また、「嵯峨美」は、日本を代表する美術大学のひとつであるという自負から新校名では「京都」を外しました。英文表記時には「Kyoto」を冠することとします。

2001年に現校名に変更してもなお、「嵯峨美」という呼び名が多くの方に愛され、親しまれ、生き続けているという現実を再確認できたことも、今回の決断に至るひとつの要因です。2016年4月時点で在学されている方は在学途中で新校名に変わりますが、入学時に約束されている教育内容は卒業まで保持され、校名以外の学部、学科名など教育課程について変更は生じません。また、卒業後の卒業証明書や成績証明書等の文書についても提出先に混乱がおきないよう適宜文書等で対応いたしますのでご安心ください。

新生「嵯峨美」の創造を、法人、教職員が一丸となって鋭意推進してまいりますので、関係各位の今後ともかわらぬご理解、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

京都嵯峨芸術大学  
京都嵯峨芸術大学短期大学部  
学長 森本 武

## 教学振興資金寄付のお願い



京都嵯峨芸術大学  
寄付金募集趣意書

本学園では教育研究に関わる活動に対する支援を目的として、毎年、教学振興資金のご寄付を募集しております。この寄付金は教育研究活動の充実、施設設備等教育環境の充実、学生の奨学制度の充実など、学生の学びの環境の充実に活用されます。

金額は個人：1口1万円、法人：任意とさせていただきます。(1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。)  
2016年6月から2017年3月末まで、在学生保護者、卒業生、教職員、企業・法人、一般有志の方々等へ広く募集を行っております。  
個人で本学園へのご支援をお考えくださる方は、本学ホームページ「ご寄付のお願い」の申し込みフォームよりお申し込みください。(右記QRコードよりアクセスしていただけます。)

## 2015年度 教学振興資金寄付ご報告

教学振興資金寄付につきまして、ご協力賜りました皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。2015年度教学振興資金寄付金は古本募金も含めて87件、1,963,273円となりました。

頂戴いたしました寄付金は、博物館収蔵庫空調機の更新、第1・2・3・6演習室の視聴覚機器のデジタル化などの施設設備関係の更新費用として活用させていただきました。

あわせて、2015年度よりワークスタディ奨学金制度の創設など、奨学金制度の拡充といった、在学生の学修環境の充実をさらに進めております。今後とも社会に有為な人材の輩出を目指し、教育・研究に係る施設・設備・制度等の充実に努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、嵯峨芸古本募金さがりボンプロジェクトにつきましては、皆様の善意により昨年度39,273円(内個人からの募金31,573円、不特定多数からの募金7,700円)となり、図書購入費として本学附属図書館の充実に活用させていただきました。

本学図書館は在学生のみならず学外の方にもご利用いただいております。今後ともご不要となりました本などございましたら、学内に設置の古本回収ボックス\*1にご投函いただくか、もしくは5点以上を段ボール箱につめて、きやぼん(フリーダイヤル0120-29-7000またはweb申込フォーム

また、企業・法人の方は、全額損金算入が可能な「受配者指定寄付金」のお取り扱いが可能ですので、管理運営グループまでお問い合わせください。

お申しいただいた後、専用の払込取扱票(手数料は無料です)をお送りいたします。

なお、ご親族・お知り合いの方等にご支援くださる方がいらっしゃいましたらお知らせいただければ幸いです。

昨今の厳しい経済情勢で申し上げにくいお願いではありますが、本学園の教学振興にご理解をいただく皆様にご支援をお願い申し上げます。

本学「ご寄付のお願い」ウェブサイトURL

<http://www.kyoto-saga.ac.jp/donation>

問い合わせ先:

京都嵯峨芸術大学 管理運営グループ(寄付金窓口)  
Tel.075-864-7858 / Fax.075-881-7133  
e-mail : soumu@kyoto-saga.ac.jp



↑ 申し込みフォームはこちら ↑

<http://kishapon.com/sagagei/>へお申し込みいただければ、送料無料で希望日時に宅配業者が集荷に伺いますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

\*1 回収ボックスの設置箇所は「管理棟1F事務局内」、「C棟3F教育・機材SC前」、「有響館B1図書館内」の3箇所となっております。

## 2015年度 寄付者の方々(五十音順・敬称略)

教学振興資金寄付へのご協力、心より御礼申し上げます。ご寄付頂きました方々への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

- |        |        |       |        |
|--------|--------|-------|--------|
| 石川 利佳子 | 石倉 喜代司 | 石田 正人 | 石田 正利  |
| 伊藤 威   | 伊庭 新太郎 | 岩竹 耕一 | 上尾 豊二  |
| 上田 昇   | 馬澄 和彦  | 岡本 一朗 | 尾本 勝一  |
| 尾山 茜   | 川合 叫子  | 川瀬 雅也 | 北川 純二  |
| 木村 昭三  | 梧谷 仁美  | 国見 恵子 | 小林 錦造  |
| 坂上 英彦  | 佐藤 一郎  | 佐野 仁志 | 澤田 周   |
| 篠藤 里美  | 柴田 誠   | 末廣 幸代 | 杉本 雅幸  |
| 高野 竹子  | 高家 昌昭  | 田中 正子 | 谷村 あつ子 |
| 戸谷 照雄  | 中井 宏子  | 西園 洋江 | 西山 裕人  |
| 橋口 俊之  | 橋本 裕美  | 服部 精村 | 藤原 啓治  |
| 藤原 愛   | 外村 英子  | 堀江 茂弘 | 真板 昭夫  |
| 眞榮城 目里 | 増田 敏二  | 水野 友晴 | 溝田 昌司  |
| 道下 健一  | 光岡 道寛  | 峯 敦   | 宮谷 雄子  |
| 森川 正英  | 山下 豪一  |       |        |

\*お名前の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

大学報告

## 教育後援会報告

2016年度総会が7月3日(日)に本部キャンパスAVホールにて開催されました。2015年度事業報告・決算と2016年度事業計画・予算が承認され、新役員が選出されました。また、来年度に予定される大学と短期大学の校名変更に伴い、教育後援会の名称並びに会則の変更が決定されました。引き続き仲学生支援委員長から学生生活について報告が行われ、閉会后、学科分野別に担当教員との懇談会、職員との成績関係や学生生活、進路関係についての個別相談会が実施されました。

その他、施設見学会、就職支援セミナーを実施し、当日お配りした無料拝観券で多くの方に「旧嵯峨御所 大本山大覚寺」へご参拝をいただきました。

参加者の皆様からは概ね好評をいただき、本学の教育支援、教育環境の一端をご理解いただく良い機会となりました。  
(管理運営グループ)



## 2016年度 前期募集イベント報告

前期オープンキャンパスを4月24日(日)、6月12日(日)、7月24日(日)、8月21日(日)に開催しました。オープンキャンパスでの総来場者は昨年を上回りました。

また、1日かけて志望分野・領域の授業を体験できる体験入学を5月29日(日)、6月19日(日)、7月10日(日)に実施しました。7月10日(日)はAO入試I期を想定したプログラムを実施し、多くの方にご参加いただきました。今後も広報活動や内容の充実に関心、一人でも多くの方に本学の学びを知っていただけるようにします。

2017年度入試では、AOI期・Ⅲ期を体験授業形式、AOⅡ期は面談形式で行います。さらに、昨年度多くの受験があった「スカラシップ入試」は11月と3月の2回実施します。本入試の合格者は特待生として採用され、大学では総

額200万円、短期大学では総額100万円の給付を受けることができます。(※継続審査有)

(入学広報グループ)



告知

## 今年の嵐芸祭は「パズル」がテーマ!!

嵐芸祭は本学の学園祭のことで、学生の発表の場でもあり、来場者の方と一緒に最高の二日間を作り上げるものです。今年の開催日は10月29日(土)、30(日)で、日常ではできない事、やってみたくても機会がない、そんなやりたいのピースを集めて今年の嵐芸祭のテーマを「パズル」に決定しました。やりたいが集まっちゃった集合体という意味を込めて、当日は在学生やサークルによる模擬店やフリーマーケットはもちろん、芸大ならではの展示会やライブペイント、中庭に設置するメインステージで様々なコンテストが行われます。

実行委員会は装飾やポスターなど掲示物の作成、さらには豪華ゲストによる特別イベントなどを企画し、嵐芸祭を盛り上げるために活動しています。

しかし嵐芸祭は実行委員会だけではなく、在学生や卒業生、

教職員や地域の方々など、来場者の方がいて初めて出来るもの。ワクワク、ドキドキするような空間を作り上げて待っています。皆様是非おこしください。

(嵐芸祭実行委員会委員長 延原 亜沙美)

